

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和4年3月22日(火)16時00分～16時30分
3. 場 所：原子力規制庁 16階B会議室（web開催）
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

池田技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

芳賀技術研究調査官

原子力エネルギー協議会：1名

関西電力株式会社：2名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「電気・計装設備の健全性評価に係る研究（令和2年度～令和6年度）」において使用する目的で、電動弁駆動部と低圧ケーブルの貸与を受けることについて意見交換を行った。

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）から、貸与を受ける美浜発電所1号炉の電動弁駆動部について、令和4年5月末頃に取り出しが可能であるとの説明があった。また、関西電力から現在貸与中の低圧ケーブルと今後貸与を受ける電動弁駆動部の返却時期の見通しについて質問があった。規制庁からは、低圧ケーブルは令和5年度末、電動弁駆動部は令和6年度末の返却を予定していると回答した。電動弁駆動部の貸与を受ける場合には、現在貸与を受けている低圧ケーブルと併せて、関西電力と貸与依頼書を取り交わすことを再度確認した。

原子力エネルギー協議会から、規制庁が貸与を依頼している沸騰水型原子力発電所の低圧ケーブルについて、中国電力株式会社及び東京電力ホールディングス株式会社は、メーカーと工事内容等を調整中であるとの説明があった。規制庁からは、状況が整い次第、面談を行いたい旨を伝えた。これに対し、原子力エネルギー協会から、了解であるとの回答があった。

6. その他

提出資料：特になし。